

成果発表会2014 技術部会の成果について

2014年5月26日

一般社団法人 日本スマートフォンセキュリティ協会 技術部会

2013年の技術部会成果

アジェンダ

- **デバイスWG**
 - MAM/MCM 利用ガイド
- **アプリケーションWG**
 - Androidアプリのセキュア設計・セキュアコーディングガイド【英語版】
- **アプリケーションWG 講演**
 - 情報収集モジュール調査リーダー 杉浦隆幸様
 - 自分のアプリをマルウェアにしないための、広告、ユーザトラッキング、クラッシュレポートの選び方

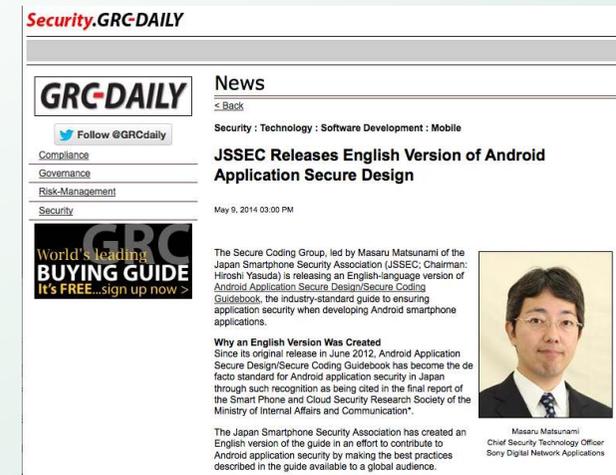
MAM/MCM 利用ガイド

- 特に執筆頂いた、日本ユニシス株式会社、株式会社クレスコ、株式会社ソリトンシステムズ、株式会社 富士通ビー・エス・シーの皆様、ありがとうございました。
- MAM/MCM 利用ガイド
 - MAM/MCMの考え方について定義が曖昧であったり製品により解釈が異なることから体系立てて整理しました。
 - アプリケーションやコンテンツのライフサイクルを基軸としたセキュリティ管理の有り様を記述しました。
- MAM/MCMの製品やサービスは今後も発展していくと予想されます。引き続き検討を進めることとします。

アプリケーションWG

Androidアプリの セキュア設計・セキュアコーディングガイド 【英語版】

- 英語版と言う事で、各方面からの御協力を頂きました
 - ・ 特に、株式会社BJIT様、株式会社神戸デジタル・ラボ様には多大な貢献を頂きました。誠にありがとうございました。
 - 海外のメディアにも取り上げられ
 - ・ GRC-DAILY など
 - 御陰さまで、英語圏からのアクセスが増えました
 - ・ 5月22日(確認)時点で 5万7千件のダウンロード
- 次回予告
- ・ 気になる次の日本語版は「プライバシーポリシー」及び「暗号化」を加筆し夏頃公開の予定です



アプリケーションWG講演

「自分のアプリをマルウェアにしないための、広告、ユーザトラッキング、クラッシュレポートの選び方」

情報収集モジュール調査リーダー 杉浦隆幸様
(ネットエージェント株式会社)

概要: 第三者が提供するライブラリがどんな機能を持つかわからずに採用してしまいますと、root権限を利用したり、勝手に海外にユーザ情報を送信したり、通知領域に広告を出したり、自分が作ったアプリがマルウェアになってしまいうリスクがあります。自分のアプリをマルウェアにしないための、広告、ユーザトラッキング、クラッシュレポートの選び方についてお話をさせていただきます。



以上